



○発行 特定非営利活動法人 横浜市精神障害者家族連合会
〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752番地
障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール3F
電話 045(548)4816 FAX045(548)4836

横浜市へ25年度要望事項の懇談会が終了しました。

平成25年度の各単会さんからの要望事項をまとめた要望事項について、8月23日(木)浜家連では理事長以下計20名が参加して横浜市健康福祉局と懇談しました。

【最重点項目】

1 福祉特別乗車券は利用料無料制度を維持して下さい。

平成25年度精神保健福祉施策要望書について(要旨)は先月号で掲載の通りですが、今回は時間が長かったこともあって、参加者からの思いも直接届けることができました。局からも担当課長・係長から回答があって政党との懇談会とは違って、有意義な時間が持てました。その中で、最重点項目の福祉パス有料化については、当事者の思いを文書にして提出しました。急きょ持ち込まれた思いも届けました。(文書の詳細は事務局へお申し出ください)

※ ※ ※ 朝日新聞の報道に怒りの声 ※ ※ ※

8月25日の朝日新聞の横浜版で「福祉パスの有料化」が決定したかの様な報道がありました。28日(火)の浜家連常任理事会では怒りの声が起きました。早速健康福祉局へ照会したところ、健康福祉局としては、「よく読めば決定にはなっていないことが分かる内容である」との回答でした。アンケートは鋭意集計中で9月末までには結果を公表しますとのことです。

【重点項目】

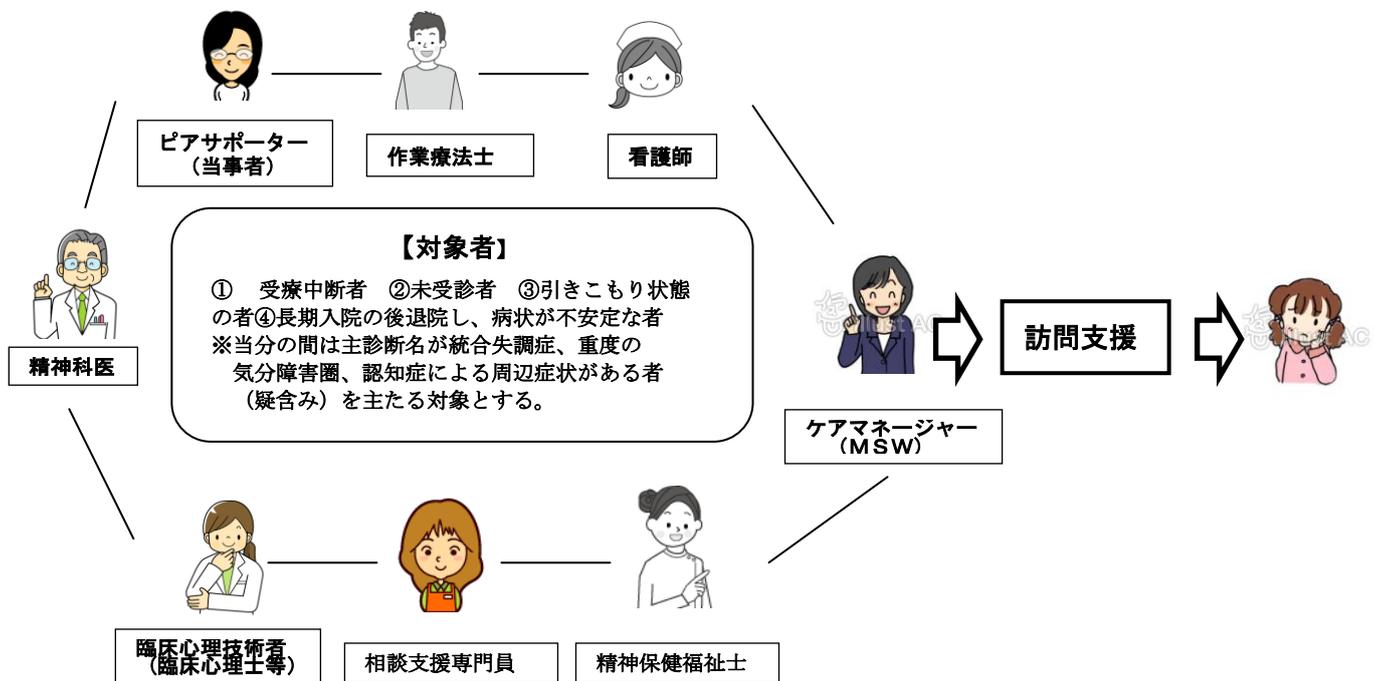
4 多職種による訪問医療や地域生活支援の体制を構築してください。

横浜版アウトリーチについてはモデル地区を設定して早急に実施できるように要望をしました。

横浜版こころのアウトリーチイメージ図

●10名程度の人員、10万人程度の地域、車で30分以内の範囲で多職種チームによる訪問支援 横浜版こころのアウトリーチイメージ図

●10名程度の人員、10万人程度の地域、車で30分以内の範囲で多職種チームによる訪問支援



Aブロック市民フォーラム アンケート結果

7月21日(土)Aブロックフォーラムが開催されました。講演の感想文は先月号で掲載しましたが、アンケートの集計結果は下記の通りです。

項目	内容	内容	内容	内容
1 住所	横浜内 92.9%	2 性別	女性 58%	男性 42%
3 年齢別	40～50才代 35%	70才代以上 27.9%	60才代 23.6%	
4 受講動機	① 家族に精神障害者がいるから 60.7%	② 野末先生の講演を聞きたかった 33.6%	③ こころの病について知りたかった 15.0%	④ 精神保健の勉強をしている 13.6%
5 プログラム内容について	大いに良かった	音楽と劇 38.6%	講演 54.3%	
6 何で講演会を知りましたか	① 家族会から 52.1%	② チラシ 18.6%	③ 置いてあるのを見て 10.7%	
7 家族会に入っていますか	① いる 56.4%	② いない 40.7%		

自由意見

I 音楽と劇

- ① アイディア最高の手話、よく分かり素晴らしかった。
- ② 知人が出演していてびっくり！「頑張っているな」と思った。
- ③ ユーモアがあり、元気な様子で活動している姿がうかがえてほっとした。

II 野末先生の講演

- ① SSTについては賛否が別れました。
「講演だけで良かった。」という人と、「SSTは大失敗でした」という厳しい意見もありました。
- ② SSTで「～してくれてありがとう」を実践したいと思います。
- ③ 先生の体験に基づいた話でひきこまれた。もう少し詳しく知りたかった。
- ④ 今までとは違う視点で考えることができました。



以上から見えてくること

40才代から50才代の女性が多く参加されていて、家族に当事者を抱えている。家族会に入っている人が半数以上いて、チラシで講演会を知った。年代が若いということは当事者も若いということになるので、これから長い年月苦しむことになるかと思うと、今まで以上に社会資源の充実や家族の支援が大切になると思います。

24年8月23日(木)発行のタウンニュース旭区版の「人物風土記」に岡林郁子さんが紹介されました

Bブロックフォーラム開催に合わせて、担当単会でPR活動を進めている「あけぼの会」岡林郁子さんが紹介されました。記事の一部を引用します。

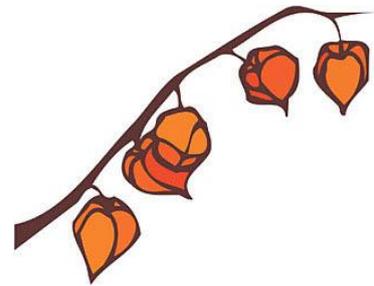
“精神障害を知って”—回復への希望を絶やさない—

今回のイベントに当たって、絶対お願いしたい人がいて、『夏苺先生』に焼津市まで会いに行きました。先生は母親が統合失調症だった経験を持つ精神科医です。

岡林さん自身も、今から35年前お子さんが不登校から、ひきこもり、家庭内暴力等から、精神分裂病の診断を受けて、当時は今より情報がなく「知られたくない」という気持ちが強く、逃げ場がない状態だった。そんな時支えになったのが、家族会だった。仲間にも何度も助けてもらえた。その後ご長男は安定されていましたが、在宅治療中に30歳で自殺をされてしまいました。その後も家族会活動を楽しんでいるが、『頑張っている姿を見せたいから』—「楽しいから続けている」と話されています。

今後も家族や当事者と共に活動をしていきたいと前向きに取り組んでいます。

イベントのお知らせ



§ 1 Bブロックフォーラムについて

日 時 平成24年9月17日(月)13:00～16:00
会 場 旭区公会堂 定員 450名
入 場 無 料
講 演 演題“忘れないで！『希望』という薬を”
テーマ 精神科医として、そして統合失調症の子どもとして
講 師 夏苺 郁子先生 (やきつべの径診療所)
当日は先生の著書のサイン会があります。(本購入後50人限定)

§ 2 第3回家族会研修会

日 時 平成24年9月20日(木)13:30～16:00
会 場 横浜ラポール 2階 大会議室 定員100名
入 場 無 料(直接会場へお越しください)
講 演 発達障害について
講 師 佐藤 賢治 氏(オフィスウイング 所長)
交 通 JR新横浜北口から無料送迎バスがあります。



§ 3 第18回市民メンタルヘルス講座

“みんなで考えよう こころの健康 ～ 一人のできること 社会ができること ～”
日 時 平成24年10月17日(水)・24日(水) [2日間]
両日とも午後6時30分～午後8時50分(開場午後6:00)
会 場 横浜市健康福祉総合センター 4階 ホール
内 容 10月17日(水) = 1日 目 =
講 師 笠井 清登 先生(東京大学医学部付属病院精神神経科 教授)
～ こころの健康を考える一思春期とこころの発達～
10月24日(水) = 2日 目 =
講 師 福田 正人 先生(群馬大学大学院医学系研究科 准教授)
～地域社会で実現するこころの健康～
要予約 (聴講券をお送りします。) 申し込み締め切り 10月5日(金)必着
申し込みFAX番号 045-548-4836 郵便の場合は1面の住所へ郵送ください。
ホームページでも公開しています。

編集後記

今年は、お盆が過ぎてから連日35度近くの猛暑日が続いています。仕事場は冷房の効いたところで順調に進んでいます。グリーンカーテンのゴーヤも時々取り込んで、皆んなで順番に持ち帰っています。

ロンドンオリンピック、高校野球、プロ野球、パラリンピックとそれぞれの分野で頑張っている人がいます。自分も何事にも前向きな気持ちは持ち続けたいものです。この先もしばらく残暑が続く様です。熱中症には気をつけてお過ごしください。(事務局 斉藤)